



黒沢一成議員

## 財政問題

# 山田町は倒産するのか

## 最善の努力で回避する

**質問** 国県市町村とも財政状態が苦しくその再建策を模索している。

元日の新聞紙上で、本町も平成二十二年に財政再建団体に陥る可能性があると知らされた。民間企業であれば倒産と言うことであり、驚き不安に感じている町民も少なくないと思う。

国の財政事情を考えれば、地方交付税の削減が改善されると思われない。

万が一財政再建団体に陥った場合、町民にはどのような影響が考えられるか。  
**沼崎町長** 国の管理下に入って財政赤字を解消することになる。  
再建団体になった例で見

ると、公営住宅使用料、保育料、体育施設使用料、上下水道料の引き上げで歳入増を図り、各種団体への補助金削減や町債発行の制限による補助事業の抑制と単独事業の原則禁止などで歳出を抑制される。

そのような事態に陥らぬよう、最善の努力をする。

## 町の考えを聞く



平成15年度スポーツ少年団結団式の様子



空き店舗が目立つ山田の商店街町の活性化策が望まれます

## スポーツ振興

# 町内のスポーツ人口は 団体などの参加者は9%

**質問** 競技スポーツである、レクリエーションスポーツであれ、それぞれの年代、志向にあった運動とそれに伴う人との交流は生活を豊かにしてくれる、町の活動力の一つのバロ

メーターであると考ええる。特に青少年の育成にとつて有効であることは誰もが認めることと思う。  
町内のスポーツ団体の数と参加人口。割合はどの程度か。

**松尾教育長** 町内の各種スポーツ団体は五十五団体であり、参加人数は九百四十三人である。スポーツ少年団は二十四団体であり、小学児童千二百六十二人の内、五百五十二人が参加・活動している。また、中学生の運動部員は二校合わせた生徒数六百五十三人の内、四百八十三人である。  
スポーツ団体などの参加割合は、町民全体では千九百七十八人で約九%、小学生では約四四%、中学生では約七四%である。